

## 東津野村の「どんぐり農園グリュエネ」

清流通信の読者の皆さん、こんにちは。今回は四万十川源流域に位置する東津野村でポット苗木などを栽培・販売している「どんぐり農園グリュエネ」を紹介します。

「どんぐり農園グリュエネ」は、①東津野村や村外の企業や自治体に販売する緑化木のポット苗木づくり、②村内の公道や公共施設に植樹する花づくりを行っています。現在、6～7人の障害者の方と指導員、そして補助の方数名で花木の苗を栽培しています。

「栽培している苗木は、四万十川流域で取れる『どんぐり』から育て、また、樹木の多様性も考え、コナラ、クヌギ、イロハモミジ、ケヤキなど20種以上の広葉樹を中心に栽培しています。私たちの事業が少しでも、豊かな森づくりに貢献できたらと考えています。一方、小規模な作業所ですが、年間約6千本の出荷を行っており、経営自体も黒字で推移しています。出荷した苗木は高知県が実施している『木の香る道づくり事業』において、道路工事などで削られた山肌に移植されています。関係者の方々からグリュエネの苗木は定着率がいいと褒めていただいています」と指導員の戸田さん。

平成13年から、(財)国土緑化推進機構の緑の募金を活用して、地元の東津野村で、「恵みの森づくり事業」を行いました。苗を「どんぐり農園グリュエネ」が出荷し、地域の小学生を含む緑のボランティアの協力により、昆虫が集まりやすい木を中心に、3年間で2000本を植樹しました。

グリュエネとは、ドイツ語で「緑」の意味です。人の心と暮らしの中に息づく森づくりを地域の種から再生していこうとする願いを込めています。

- お問い合わせ 東津野村役場住民福祉課保健福祉係 TEL0889-62-2313  
どんぐり農園事務所 TEL0889-62-3280



▲ポット苗を使った『木の香る道づくり事業』



▲定着のよいポット苗木

### Topics

#### 四万十・流域圏学会 第4回総会・学術研究会のお知らせ

●総会研究発表会：高知工科大学・B101 ————— 5月29日(土) 9:00～17:30

●ユースセッション(小学生)現場体験ツアー：南国市・石土池— 5月30日(日) 10:00～12:00

※四万十・流域圏学会事務局：高知工科大学システム工学科 村上研究室

TEL0887-57-2418 URL <http://kochi.cool.ne.jp/shimanto>